

“ちいさな企業” 発展会議（福岡県北九州市）
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成27年5月18日（月）14：00～16：00
- ・ 場所：福岡県北九州市（北九州国際会議場）
- ・ 中小企業・小規模事業者、支援機関、地元自治体の取組を御紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主な御意見は以下のとおり。

＜中小企業・小規模事業者＞

- ベンチャーが頼りにしたいのが、専門家のサポート。専門家の支えがあり、事業が成り立っている。専門家への相談は有料で、ベンチャーにとって大きな負担になるが、必要なもの。専門家への相談に補助金を付けてほしい。
- ビジネスの展開と会社の運営を両立させるのは、ベンチャーにとって至難の技。管理にはコストがかかるため、管理業務へのサポートについて、費用面でサポートがあると助かる。
- 補助金の応募では、素人でも分かるようにしないとイケない。専門家が審査するようにしてほしい。コスト面から難しいとは思いますが、面接も入れて欲しい。
- 補助金でものづくりや新事業を対象としたものはあるが、既存事業は対象にならない。既存事業が大きくなれば、資金は銀行にお願いすることになる。銀行に頼る事業規模になるまでは精算払いについて、改善をお願いしたい。
- 創業補助金でNPOが認められたので申請した際、認定支援機関の銀行と相談したが、NPOには融資ができないと言われたため、融資を受けるために組織変更をせざるをえなかった。創業した側への歩み寄りがあっても良いと感じた。
- ものづくり支援からサービス産業支援もだんだん充実してきたと感じる。サービス生産性向上ガイドラインを見ているが、地方にいて誰に相談して良いのか、課題を感じる。商工会議所で誰が応えてくれるか、不安。中小企業大学校でサービスにフォーカスした講座がもっと増えても良いと感じる。

- 設備投資支援、ものづくり支援で改良してほしい点は、フライングできないこと。早く事業に着手したいが、交付決定まで設備投資を待たないといけない。ビジネスのスピード感にも配慮していただければ。
- 外国人旅行者向け一括カウンターの説明会に行った。制度を簡素化してほしい。いろんな部署に関わっていることが多く、一括して相談できる制度があれば、ありがたい。

<支援機関・自治体>

- 我々だけでは限界があるので、他の支援機関と連携していきたい。よろず支援拠点とも連携を深めたいが、北九州から福岡まで足を運ぶのは難しいので、北九州に窓口を設置してほしい。
- 創業支援について、創業スクールをしているが、40代の女性は少ない。この世代の女性は、家事、育児、介護がネックになっていることが多い。子育て支援に力を注いでいただければと思う。
- 教育機関と連携し、地元の企業への訪問などをして、中小企業の役割、魅力を見童にも分かりやすく教えたりしている。
- 商品化、販路開拓を支援したいと考えているところ、情報共有の観点で、国の支援を受けた企業の情報がもらえれば、市でもその後のフォローや支援をするなど上手く連携できると思う。



以上